

平成28年度 亀岡国際交流協会 事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

亀岡国際交流協会は、国際理解と親善を深め、世界平和に寄与することを目的として、設立以来、活動を続けてきました。複雑化する世界情勢の中で、国という枠にとらわれず、異なる文化を理解し共生することについて、市民一人ひとりが考えを深めることが、真に平和な世界の実現につながると考え、さまざまな交流・学習事業を実施しました。

特に、世界各地の情報や協会の取り組みを紹介する「亀岡国際タイムズ」の発行は「広報通訳部会」、多文化共生を推進する協会の中心事業として「ワールドフェスタ」の企画・運営は「事業部会」、在住外国人や外国にルーツを持つ人々が安心して生活できるまちを目指す取り組みとして「日本語教室」の実施については「日本語部会」が中心となり、また市民レベルでの国際交流事業の核となる「ホームステイ事業」については、ホストファミリーの皆様のご協力を得て実施しました。

これらをはじめとする当協会の取り組みは、市民ボランティアや、京都学園大学を中心とする学生の協力をいただき、より大きな成果をあげることができました。

平成28年度に実施した事業の詳細については、次のとおりです。

1 会報「亀岡国際タイムズ」の発行【広報・通訳部会】

広報・通訳部会の会員ボランティアと、亀岡市国際交流員が中心となり、亀岡国際タイムズを発行しました。

当協会や関連団体が行うさまざまな国際交流事業や、亀岡と関係が深い外国人等を紹介。亀岡の国際交流に関する情報誌として、記事の執筆、編集、発行を行いました。

誌面は基本的に英語と日本語の2ヶ国語で構成し、一部では紹介する外国人の母国語も掲載しました。カラーの誌面で写真も数多く取り入れました。

協会の会員へ配布するとともに、市内の幼稚園や小・中・高校・大学等、公共施設、国際交流関係機関、各姉妹都市へ送付しました。

発行回数 年4回 発行部数 各500部

2 ワールドフェスタ【事業部会】

平成28年度は、11月に子どもを対象としたジュニア・ワールドフェスタ、2月にはインドネシアのイスラム文化をテーマとしたワールドフェスタ2017を開催しました。

どちらも事業部会のスタッフを中心にテーマや企画内容を話し合い、当日の実施運営も行いました。

(1) ジュニア・ワールドフェスタ

～難破船RPG～ 言葉の通じない島にとりのこされて…

子ども達がゲームを楽しみながら、言葉や文化が違う相手とのコミュニケーションを通じて、異文化交流を体験する事業として実施しました。

日時 平成28年11月13日(日) 13:30～16:00

場所 ガレリアかめおか 大広間

参加者 105名(うち子ども50名)

(2) ワールドフェスタ2017

私のインドネシアのイスラム文化 ～ファッションとハラール食について～
インドネシア出身のエニ・レスタリさんの講演と、同じくインドネシア出身のニノ・フィアルタシウィさん、事業部会代表の児嶋きよみさんを加えてのパネルディスカッションを中心に、食やファッションといった身近な内容を切り口に、日本ではあまり知られていないインドネシアとイスラムの文化についての話を聞き、グループで話し合いました。

日時 平成29年2月11日(土・祝) 13:30～15:30

場所 ガレリアかめおか 大広間

参加者 90名

3 日本語教室【日本語部会】

亀岡市内や近隣地域に住む外国人等、日本語を母語としない人を対象に、日常生活に必要な日本語を習得していただくことを目的に、日本語教室を継続して開催しました。

実際の指導の他、授業内容の作成等を、日本語部会を中心とした日本語支援ボランティアが担っています。

交流会等も開催し、単に日本語を学ぶだけでなく、学習者同士やボランティアとのつながりをつくり、コミュニケーションの問題等で地域社会で孤立しがちな外国人住民の総合的な生活支援を行いました。

日時 平成28年4月3日(日)～平成29年3月26日(日)
日曜日 10:30～11:30 全39回開催
月曜日 19:30～20:30 全9回開催
場所 ガレリアかめおか 大広間 または 研究室
参加者 ボランティア 25名
学習者 31名

4 ホームステイ事業

亀岡市内および、周辺地域で学ぶ留学生や在住外国人と交流を図り、ホームステイ等を通じて相互の文化と価値観の多様性を理解し合うことを目的に開催しました。

(1) ホームステイ交流プログラム

京都学園大学の留学生9名をゲストに迎え、はじめに「安町ホーム 和の家」で一緒におにぎりを作って食べ、その後ホストファミリーの家庭で一泊して交流を深めました。

日程 平成28年11月12日(土)～13日(日)
場所 安町ホーム 和の家、各ホストファミリー宅
参加者 ホストファミリー 9家庭
ゲスト(京都学園大学留学生) 9名

(2) ワンデートリップ in 亀岡

宿泊を伴わないホームビジットは、留学生等が比較的気軽に日本の家庭を体験できるプログラムです。今回は、京都伝統工芸大学校の指導で、うちわと箸の製作を体験し、その後、各々ホストファミリーと一緒に過ごしていただきました。

日程 平成29年3月4日(土)
場所 ガレリアかめおか工作室、各ホストファミリー宅
参加者 ホストファミリー 5家庭
ゲスト(留学生、在住外国人等) 5名

5 祭交流事業

「亀岡手作り甲冑の会」の協力により、京都学園大学の留学生等が甲冑をつけて行列に参加しました。祭りの参加者や甲冑の会のメンバーと交流し、日本の文化に触れていただきました。

(1) 光秀まつり甲冑体験

日時 平成28年5月3日(火・祝) 11:00~17:00

参加者 10名

(2) 亀岡祭山鉾巡行体験

日時 平成28年10月25日(火) 9:30~13:30

参加者 5名

6 国際理解学習

(1) 亀岡を伝えようシリーズ

旅行やホームステイなどで亀岡に来られる方に対し、日本語や英語を使って地元の良さをどのように伝えるかを考え、その中で新たな魅力を発見することを目的に開催しました。国際交流員や留学生と一緒にまちを歩き、住んでいる人からの視点と外国人からの視点や興味の違い等について理解を深めました。

《1回目》 城下町を伝えよう ～名水めぐり～

亀岡の城下町に流れる水がどのように利用されてきたか等についてガイドの説明を受け、醤油の製造も見学しました。後日のディスカッションでは、生活に関わる水について、国際交流員ミシェルさんの出身地であるシンガポールやカナダとの違いを話し合いました。

日時 (城下町歩き) 6月13日(月) 13:30~16:20

(ディスカッション) 6月22日(水) 10:00~11:45

ガイド 松尾清嗣さん(かめおかまちの元気づくりプロジェクトリーダー)

コーディネーター ミシェル・リオングさん(亀岡市国際交流員)

参加者 12名

《2回目》 京都の名所を伝えよう

アメリカ・ノースセントラルカレッジから京都学園大学に短期研修生として来日中の留学生と、市民と一緒に京都の名所をめぐり、ガイドの説明を受けながら、交流とディスカッションをしました。

日時 11月8日(火) 9:00~16:50

ガイド 小川健一郎さん(京都観光ガイド・通訳案内士)

通訳 ミシェル・リオングさん(亀岡市国際交流員)、橋陽子(事務局)

参加者 20名(一般8名、留学生10名、学園大スタッフ、ガイド)

(2) シンガポールキッチン

シンガポールから来られたゲストと一緒に料理を作り、試食しながら交流し、シンガポールの食文化について学びました。

日時 平成28年9月21日(水) 17:30~20:45

場所 ガレリアかめおか 料理実習室

講師 ジャッキー・ヤップさん

通訳・解説 ミシェル・リオングさん(亀岡市国際交流員)

参加者 16名

(3) ハッピーハロウィンパーティ

日本でもポピュラーになってきたハロウィンについて学ぶ、子ども向けのイベントを開催し、楽しみながら国際交流を体験する機会を提供しました。

日時 平成28年10月30日(日) 13:30~15:00

場所 ガレリアかめおか 大広間

参加者 19名

(4) グローバルカフェ

海外に行かなくても国際交流ができる場所として、グローバルカフェを全6回開催しました。各回2~3名の外国人ゲストを招き、英語を交えてワークショップやディスカッションを行いました。在住外国人にとっても、市民と交流できる機会になりました。

日程 ①平成28年5月24日(火)、②7月26日(火)、③9月27日(火)、
④12月17日(土)、⑤平成29年1月24日(火)、⑥3月28日(火)

場所 ガレリアかめおか

参加者 延べ84名

(5) 節供をめぐる物語 ―ここまでとここから―

生涯学習かめおか財団との共催事業として開催。日本の文化として根付いている節供をテーマに取り上げました。ひなまつりにちなんだワークショップとトークイベントで、日本の文化を知り、また海外から見た日本について考察しました。

《ワークショップ》 色彩 おひなさま色紙

日時 平成29年2月26日(日) 13:30~15:30

場所 ガレリアかめおか 工作室

講師 奥村 はるみさん(陶芸人形作家)

参加者 17名

《トークイベント》

日時 平成29年3月11日（土） 13：30～15：30

場所 ガレリアかめおか 工作室

登壇者 田中 正流さん（平等院ミュージアム鳳翔館学芸員）

奥村 はるみさん（陶芸人形作家）

ミシェル・リオングさん（亀岡市国際交流員）

コーディネーター 黒川 孝宏さん（亀岡市文化資料館館長）

参加者 30名

（6）日本の伝統文化体験

多文化が共生する社会において、相互理解を深めるためには日本のルーツを知ることでもあることから、日本の伝統工芸の体験として、うちわとお箸を作る講座を開催しました。

日時 平成29年3月4日（土） 13：30～15：30

場所 ガレリアかめおか 陶芸室

指導 二本松学院 京都伝統工芸大学校

参加者 7名

7 会員親睦・交流事業

（1）総会交流会

会員相互の親睦を図るため、定時総会の開催と併せて、会員交流会を開催しました。イバナ・オロズコさんによる、メキシコの民族舞踊「バレエ・folklorico」のステージと、ダンスステップの体験を行いました。

日時 平成28年6月11日（土） 11：00～11：40

場所 ガレリアかめおか 大広間

出演者 イバナ・オロズコさん（亀岡市英語指導助手）

参加者 37名

（2）部会間交流会

亀岡国際タイムズの編集・発行を担当する「広報・通訳部会」、ワールドフェスタの企画・開催を担当する「事業部会」、日本語教室の実施を担当する「日本語部会」のスタッフが一堂に会して交流しました。また、日本語教室に参加している外国人学習者にも参加していただき、お互いにつながりを作っていただく機会としました。国際交流員ミシェル・リオングさんが企画したヒューマンビンゴという自己紹介ゲームなどのワークショップで交流しました。

日時 平成28年7月24日（日）12:00～13:30

場所 ガレリアかめおか 大広間

参加者 37名

8 京都学園大学との連携事業

（1）交流事業

京都学園大学に短期留学で来られている台湾からの留学生に、亀岡の魅力を紹介する城下町ウォークと、市民とのものづくりを通して交流する機会を提供しました。

《和の小物づくり》

日時 平成28年7月19日（火）14:00～17:00

場所 京都学園大学 学士館

講師 西野千保子さん（手づくりキッズ主宰）

参加者 40名

《城下町ウォーク》

日時 平成28年7月21日（木）9:30～12:00

場所 亀岡市役所～大本本部～南郷公園

参加者 34名

ガイド 松尾清嗣さん（かめおかまちの元気づくりプロジェクトリーダー）

京都学園大学に短期留学で来られている中国からの留学生との交流会を開催しました。折り紙を使ったワークショップを通じ、日本文化を紹介しました。

日時 平成29年1月21日（土）10:15～12:30

場所 京都学園大学 学士館

講師 奥村はるみさん（陶芸人形作家）

参加者 15名

（2）協会事業への参加

留学生に、当協会が行う事業に参加していただき、会員や市民との交流機会を提供しました。

また、ワールドフェスタの企画を行う事業部会には、大学事務局スタッフと一緒に学生も参加し、ワールドフェスタの企画から運営まで積極的に関わっていただきました。

9 姉妹都市交流事業

市民グループ「オフィス・コン・ジュント」との共催で、姉妹都市のアメリカ・スティルウォーター市と亀岡市の子どもの絵画作品等を、相互に送り合って展示し、姉妹都市への理解と交流を深める「キッズアート交換プロジェクト」を実施しました。

《作品制作会》

日時 平成28年11月19日（土） 13:30～16:30

場所 ガレリアかめおか 研修室

参加者 子ども8名（保護者を含め16名）

《展示》

スティルウォーター市から送られてきた作品とあわせて、制作会で作った作品、千代川小学校、本梅小学校、あゆみ保育園で制作された作品を含め、約140点を展示しました。

日時 平成28年11月27日（日）～12月4日（日）

場所 ガレリアかめおか ロビーギャラリー

※12月15日から2月28日まで、スティルウォーター市のワンダートリウム(子ども博物館)とコミュニティセンターに展示されました。

10 共催、連携事業等

近隣地域の国際交流協会や（公財）京都府国際センター、国際交流・多文化共生を目的に活動する団体と連携し、さまざまな事業を実施しました。

（1）南丹圏域日本語支援ボランティア スキルアップ講座

南丹市国際交流協会、京丹波町国際交流協会、（公財）京都府国際センターとの共催事業。各地域の日本語教室で活動している支援ボランティアを対象に、研修会を開催しました。

日時 平成28年8月20日（土） 13:30～16:30

場所 南丹市国際交流会館 研修室

指導 京都にほんごRings（府下日本語教室ネットワーク）研修チーム

参加者 19名

（2）外国人と日本語のつどい

南丹市国際交流協会、京丹波町国際交流協会との共催事業。南丹圏域での日本語教室の啓発、理解促進を目的に、日本語教室で学ぶ外国人学習者と市民の交流イベントを開催しました。

日時 平成29年2月26日（日） 13:30～16:00

場所 南丹市国際交流会館 コスモホール

参加者 47名

（3）災害時外国人支援入門研修

亀岡市、（公財）京都府国際センターとの共催事業。災害時に必要な情報を得ることが困難な外国人住民等に対し、どのような支援が必要であることを学ぶ研修を開催しました。

日時 平成28年12月11日（日） 13:30～16:00

場所 ガレリアかめおか 大広間

講師 キム ソンギルさん

（特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター理事長）

参加者 28名

（4）外国につながりをもつ子どもの学びを支える研修会

（公財）京都府国際センター、外国につながる子どものための学習支援教室「かめおか・ひまわり教室」との共催事業。日本に住み、子どもを持つ外国人住民等の支援活動をされる方を対象に、研修会と活動実践報告会を開催しました。

《第1回 研修会》

日時 平成28年9月22日（木・祝） 11:00～16:30

場所 ガレリアかめおか 研修室

参加者 31名

《第2回 研修会》

日時 平成28年10月22日（土） 11:00～16:30

場所 かめおか市民活動推進センター 会議室

参加者 22名

《実践報告会》

日時 平成29年2月19日（日） 11:00～16:30

場所 ガレリアかめおか 研修室

参加者 19名